

<h1>議事録</h1>		作成日	令和7年5月22日(木)
		作成者	総務部 総務課
会議名	第6回宮津市庁舎基本構想等検討委員会		
開催日時	令和7年5月22日(木) 19:00 ~ 21:00	開催場所	宮津市福祉教育総合プラザ 第1コミュニティルーム (ミッブル3階)
出席委員	青山 公三：京都府立大学 名誉教授 杉岡 秀紀：福知山公立大学 准教授 大門 大朗：福知山公立大学 准教授 角 茂一：宮津市自治連合協議会 会長 黒岡 芳子：宮津市地域女性の会 会長 北尾 ひとみ：宮津市民生児童委員協議会 監事 山口 孝幸：宮津商工会議所 専務理事 笠井 裕代：特別養護老人ホーム天橋の郷 施設長 井上 真哉：京都府建築士会宮津支部 副支部長 箕浦 龍一：立教大学特任教授		

内 容
<p>1 開 会</p> <p>2 報告事項・情報共有等</p> <p>(1) 議会部門との調整状況について 事務局から報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2階への配置については了解いただいた。 ・議場、委員会室等を市民利用の開放というのは出来ない。 ・議会が使用しない時の議場の災害対策本部や市の行事、委員会室等の市職員の会議、打合せでの使用を認めていただいた。 <p>(2) 関係者との調整状況 事務局から報告</p> <p>①株式会社さとうとの調整状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1階の出入口、3ヶ所を共有化することは了解いただいた。 ・ビル全体の運用、1・5階の(株)さとうの店舗の営業については継続して協議中。 ・衣料品等の販売の可能な限りの継続について配慮して欲しい旨、市から(株)さとうへ要望書を提出。 <p>②阪急電鉄株式会社との調整状況 事務局から報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の耐震性、地震へのリスク、老朽化等も含めた耐久性について、第三者機関による評価を進めていただいている。 ・土地と建物の売買条件について、その詳細について現在、協議中。 <p>③宮津市子育て支援センター「にっこりあ」、障害者生活支援センター「結」、京都銀行(市指定金融機関)、株式会社フューチャーイン(水道の窓口業務受託者)との調整状況について 事務局から報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いずれの団体も、特に異論はなく、ご了解をいただいている。 <p>(3) 市職員の意見集約 事務局から報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全部局長でもって検討部会を構成。各部局長を中心に、全職員の要望、意見を把

握し調整を進めた。

- ・主だったところで、執務室のセキュリティーの確保、来庁者のプライバシーの確保、障害のある方も使いやすいトイレの設置、子育て部署と教育委員会等の関連部署、施設の接続性等については今回のゾーニングで反映。
- ・健康福祉部の非分散については、全体の方針、2階に窓口、事業部門、4階に管理部門を配置するという中で対応できなかった。
- ・その他の要望については、それぞれ、ゾーニング、設備等で反映、庁舎内で、対応が困難なものについては、別場所での検討をしていくという形で整理。

(4) 第2回島崎・浜町ウォーターフロントエリア活性化検討委員会の状況(報告資料①)

- ・資料に従い事務局から説明

【委員意見】

- ・(1)について、一般利用は認めない理由を明確にしてもらいたい。
- ・(2)②について、解体撤去費の負担も含めて交渉すべき。
- ・(1)について、面積的に会派別の控え室は難しいのではないか。
- ・(2)①について、市民の皆さんの懸念がある中で、要望書を出していただいたということはありがたい。
- ・(4)について、アイデアとして、大阪万博のパビリオンとかをレガシーとして宮津に持ってきてはどうか。

3 協議検討

○基本計画案(協議資料①)

■コンセプト案、ゾーニング案について 事務局から説明

- ・第3回委員会において、すでにコンセプトの方は4つほど整理していたが、前回の委員会で、設定について、宮津特有のコンセプトがないのではというご指摘を受け、意匠性のコンセプトを追加、「宮津らしさのある庁舎」というコンセプトを追加した。
- ・内容は、市民に開かれ、海に開かれた宮津の窓となるような庁舎、こういったものを計画していきたいという意図。市民に開かれたという意味は、市民の方への配慮という点で、総合案内、わかりやすい窓口、個別相談スペース、様々な利用が行えるような交流広場を確保していきたい。
- ・次に海に開かれたというのは、この立地を生かして、空間構成により海を感じられる空間を計画していきたい。
- ・具体的には、市民の方の利便性を考えて、窓口部門を1つのフロアに集約するとともに、個別的な対応が可能な相談室の設置や市民の方が親しみやすい空間ということから広い待合ロビーの確保、多様な使い方を想定した交流スペースの確保に配慮した上で、カフェの設置や民間活用への対応も考えた空間を確保し、市役所に用事がなくても居心地がいいような空間としたい。
- ・2つ目の海に開くという点、前回の委員会のご指摘も踏まえ、海が目の前にある環境を生かして外壁部に新たな開口部を設け、2階の部分と、中二階の1.5階の部分の間の壁を抜いて、2階のフロアから海が見えるような空間を

設ける。また、2階に海が見える会議を設置し、例えば、開会式や記者会見など、対外的な発信を行う際の活用を想定。

- ・その他、福祉部門が配置されることから2階に多目的トイレ等を設置。につきりあ、乳幼児健診と子育て関連部署の接続性を踏まえ、4階に関連部署等を全て配置するゾーニング。

【委員意見】

- ・コンセプトの市民に開かれ、海に開かれたというところと、宮津らしさを追加されたという点はとても良い。
- ・海のみえる一番良いところを市民の方が使えるよう工夫いただいている点は賛同できる。
- ・5階のテラスも景色がいい。基本計画に含めて検討してもらいたい。
- ・海の見えるエリアについて、スロープがスペースを大きく占めており、梁の影響も考えられる。そこの使い方はもう一度検討いただきたい。
- ・2階の海に開かれた部分は、島崎浜町ウォーターフロントエリアとの関連性で面として来訪者をどうしていくか議論してもらいたい。

- ・2階のゾーニングの中で社会福祉課、健康介護課がプライバシーに配慮して奥の方になっているが、市民環境課と並ぶほうが利便性が高くなるのではないかと思う。プライバシー、他者からの視線に配慮しながら、そういう配置ができないか考えてもらいたい。
- ・4階の窓口カウンターの配置。奥に配置されている課から遠い。
- ・教育委員会と子ども未来課は、隣り合う方が連携がとれるように思える。
- ・障害者支援センターと障害の係が4階と2階になるのは懸念。
- ・4階に健康介護課の健康増進係があるが、その中でも、母子保健とそれ以外に分割して4階と2階に配置してはどうか。

- ・全体の動線としてはオープンで分かりやすいと思う。
- ・職員の方の出入りの動線が分かりづらい。災害発生時、いくつか出入口の選択肢があって、安全に避難できる形を確保できるのか検討は必要。
- ・階段の数が多いので減らせるなら、そのスペースも活用できるかもしれない。
- ・予約なしで職員同士や職員と市民のコミュニケーションがとれるスペースはあった方がよい。
- ・記者クラブや労働組合の配置についても検討してもらいたい。
- ・1階に総合案内等を設けてはどうか。
- ・外国の方も増えてきているので多言語併記のサインも必要。

- ・窓口手続のDXの視点。書かない持たない回らない、手続き自体をオンライン等デジタルで出来るようにするといった取り組みが今進められている。おそらく今後5~10年で、市民の方が窓口に来るといったニーズが大きく変化をしていくことが考えられる。このゾーニング案について、今の窓口業務を前提にするとういう並びになることは理解する。一方で、例えばコンパクトな形で窓口エリアを集約し、来庁者のところに職員が入れかわりに来て、全部手続きが完結するようなこともあり得る。また、あらかじめ予約いただければ、必要な手続きを担当者も

情報が確認できていて、待たずに手戻りなく手続きができるという形のサービスがこれからは基本になることもあり得る。5～10年先の窓口の形態の変化も見据えて設計をすることも必要。

- ・エスカレーターを使って上の階に行く利用者と執務室の職員の見線の遮断は必要と思っている。目隠しをすとか、壁を作るとか対策を検討してもらいたい。
- ・窓口カウンターでの相談がしやすいよう1席ごとに仕切りを設けてはどうか。

- ・市民が市役所に行く理由は目的があっていくので、それに対する素早い対応、的確な対応が職員にとって第一だと思うし、市民にとってもプラスになる。他の事に手をとられるようことは好ましくない。そういう視点から「用事があってもなくても居心地のよい」というフレーズは気になる。
- ・ビルの買取の前に出来るだけ今の持ち主でメンテナンスをするよう要望した方がよい。
- ・島崎浜町ウォーターフロントの取組みも含めて駐車場が課題。
- ・自転車で来庁される方もいるので屋根付きの駐輪場も確保してもらいたい。

- ・災害時の対応について、全体的な避難計画、BCP計画、液状化時の対応、被災時の罹災証明の発行等の窓口の運用等も今後、見直しの検討は必要。
- ・災害対策が一番大事だと思っている。浜町が埋立地であることも踏まえて、建物としてどうか大事。
(委員長からコメント)
- ・阪神淡路大震災や東日本大震災等でも液状化の問題は発生している。
- ・大規模ビルだと柱の下が岩盤だったところまで入ってないと建てられないという法律があるはず。外観上、ヒビが入っているところも見受けられないので、まず大きな柱のところは大丈夫だと見受けられる。
- ・これまでから専門家にチェックいただいていると思うが、事務局でも確認いただきたいと思う。
(事務局からコメント)
- ・建物自体は支持基盤まで杭が到達しているので、液状化の影響は少ないだろう。
- ・市街地は全域液状化リスクがある。土砂災害や浸水災害もあわせると災害リスクのない土地は市内にはない。

【委員長まとめ】

- ・4階の子育て関連部署の配置、記者クラブ、職員組合のことについては検討いただきたい。
- ・災害対策、災害対策の一環としてこのビルと他の施設との連携を考えていことも重要なポイント。それに関連して液状化等に対して大丈夫なのか、避難所や災害が起きたときに、市民の方がたらいまわしにならないような仕組みが必要。
- ・2階スロープや階段のスペースを整理できないかという話、今後検討いただきたい。
- ・4階と2階の福祉に関わる部局がもう少し近接する方がよいというご意見。
- ・海に見える場所というのはここだけではなくて浜町ウォーターフロント全体として面的に見ていく。そういう意味でも5階テラスはすごく重要なポイントとなるので是非、検討いただきたい。
- ・ここには用があるから来るのであって、遊びに来るとするのはどうかとご議論あり

ました。そういう人たちの動線と市役所に用事がある人の動線をうまく分ける必要がある。

- ・閉庁時にエスカレーターの周囲はシャッターで囲われるけれども、囲われてもシャッターに小学生の皆さんが書いたイラストがあるとか、工夫すれば、それはそれで面白い話になると思う。
- ・案内の仕方、1階で迷うというご意見もあった。これも、最近は色々なサインがあるので、その出し方で面白い工夫ができるのではないかと検討していく必要がある。
- ・今日はあまり議論できなかったが、DXの推進ということで、今後どういうふうに市役所のスペースが変わっていくのかという点も検討していかないといけない。
- ・現在2階の衣料品売場の件、(株)さとうに要望書を出しましたという報告がありました。他の地域でも色々な話を聞かすが、やはり身の回りのものを買える場所がなくなってしまうというのは、非常に重要な話。
- ・駐車場や駐輪場の話もある。
- ・以上、たくさんの意見等があった。これを踏まえ、もう一度検討いただいた上で、最終的な計画書というのを次回、議論を進めていただきたい。

4 その他

(今後の予定等)

- ・本日は貴重なご意見、気づきをたくさんいただいたので、それをゾーニングの部分で対応すること、今後、詳細設計の段階や設備で対応して必要があること、あるいは運用として対応していくことに急ぎ整理をしていく。
- ・基本計画としてはゾーニングのところまででとさせていただきたいと思っているので、次回を最終回と考えている。
- ・次回までに基本計画書案を作り、それをご議論いただきたいということと、その他、運用等で対応するものについては、こういう形でやっていくというようなご報告をさせていただくことを、次回、最終回のイメージ。
- ・正式な案内は後日ですが、6月26日の開催を予定している。引き続き検討委員会をお世話いただきたい。

5 閉会